

昼休み

すっかり疲れ果てて僕は寝転んだ
池のまわりの学生のたまり場に
視線がひどく低いので
狭い芝生はずいぶん広い野原に見える
綿毛のたんぼぼが大きく見えて
黄緑の若葉が僕を見下ろして
ああ、僕は慈愛の眼差しに囲まれていた

僕はすっかり疲れも取れて
伸び伸びとした童心にかえった
沢山の蟻と無心に戯れて
ああ、僕はもう居なくなってしまった

ところが僕の傍に可愛い女たちが座って
にぎやかに話し始めたから
僕は虚栄の心にあおられてしまい
やおら煙草を取り出して吸ってしまった

煙草を吸ってしまった・・・
これで僕は暗鬱な己の中に逆戻りして
また疲れがどっと重たくのしかかって
僕はどうにも憂鬱に立ち上がりましたのです

(1982.5.18)